

9:30-9:40

開会挨拶 阪大院理・篠原 厚

・セッション1「放射性微粒子の基礎的情報(1)」 進行 佐藤志彦 (JAEA)

9:40-10:00

「海洋由来の放射性微粒子について」三浦輝 (電中研)

10:00-10:25

「TES 蛍光 XAFS によるセシウムの化学状態分析」高橋嘉夫 (東大院理)

10:25-10:50

「単一微粒子質量分析法に基づくアルファ微粒子オンラインモニタリングに向けた基礎検討:エアロゾル分析技術の面から」古谷浩志 ほか (阪大リノ ほか)

・依頼講演 進行 高橋嘉夫 (東大院理)

10:50-11:30

「多色共鳴レーザーイオン化を用いた放射性同位元素のマイクロイメージング」坂本哲夫 (工学院大工)

・セッション2「国際的な取り組み」 進行 北和之 (茨大理)

11:30-11:50

「放射性微粒子を保管・共有するための国際的な取り組みについて」佐藤志彦 (JAEA/CLADS)

12:00-12:40 昼食 (をとりながらの講演)

・セッション3「放射性微粒子の基礎的情報(2)」 進行 篠原厚 (阪大院理)

12:00-12:20

「福島原発事故により放出された放射性微粒子の分析および模擬生成実験」稲垣 誠 (京大複合研)

12:20-12:40

「核分裂生成物と溶液状エアロゾルによる放射性エアロゾルの生成」高宮幸一 (京大複合研)

12:40-13:00

「福島原発事故により放出された放射性微粒子に含まれる Sr, Pu の微量分析」五十嵐淳哉 (阪大院理)

13:00-13:20

「福島での大気サンプリングで検出された放射性微粒子とその頻度の経年変化」北 和之 (茨大理)

・セッション4「放射性微粒子の性状研究の深化」 進行 五十嵐康人 (京大複合研)

13:30-13:50

「放射性 Cs 含有微粒子の粒径分布と新たな組成情報」奥村大河 (東大院理)

13:50-14:10

「放射性 Cs 微粒子の表面電位測定を試み」黒澤景一 (慶応大理工)

14:10-14:40

「SPM ろ紙測定による放射性微粒子の地域分布の解明」森口祐一 (東大院工)

・セッション5「先端技術と生態・生体影響」 進行 奥村大河 (東大院理)

15:00-15:30

「放射性セシウム粒子を用いた細胞影響評価の概要と生物影響評価に向けた展望」鈴木正敏 (東北大学)

15:30-15:50

「HAXPES による放射性微粒子のセシウムの化学状態」石井達也 (筑波大院数理)

15:50-16:10

「植物石に吸収された Cs に関する研究」渡會健太(工学院大工)

16:10- 総合討論 進行 高宮幸一 (京大複合研)

「ビジョン—長期動態の取り組み」 五十嵐康人 (京大複合研)

16:30 閉会挨拶 大槻 勤 (京大複合研)